

# — セッションレポート —

## 捨てるから考えるサーキュラー・デザイン オープンセッション#2

テーマ ファッション (衣類の廃棄)

2023.07.18  
@渋谷ifspace



- CURULY LABは、ワクワクする未来の実現に向けて、循環経済（サーキュラー・エコノミー）を推進するための手段「サーキュラー・デザイン」の実践を加速するための共創プラットフォームです。
- 生活者を起点として、地域、企業、大学など多様なセクターが共創していけるように「創造的な対話の場＝フューチャーセッション」を開催し、自分ごとのアクションを促進します。
- 主な活動内容：
  - 先進的な事例の共有
  - サーキュラーデザインの考え方を取り入れたワークショップ手法の開発
  - ワークショップの開催
  - 創造されたアイデアの共有
  - 実践者コミュニティの形成
- 参画団体：
  - IDEAS FOR GOOD /COI-NEXT金沢大学拠点・研究開発課題5／フューチャーセッションズ

# テーマと目的

## テーマ

- ・ファッション 衣類の廃棄

## 目的

- ・サーキュラー・エコノミーの実現に向けて、「捨てる」視点からバックキャストिंगして、どのような製品を作れば良いのか？どのように使えば良いのか？クロスセクターで全体統合したサーキュラー・デザインを共創をしていきます

限りある資源を循環させ、持続性を高めるためのサーキュラー・デザイン。

その実現のために行政やさまざまな企業が努力していますが、たくさんのモノが捨てられているのが現状です。

当事者は、行政や企業だけではなく。モノを購入し、使い、捨てる、生活者である誰もが当事者です。

このプログラムでは、家庭で出てしまうゴミを起点に、生活者が無理なく楽しみながら、結果的にサーキュラー・エコノミーを実現できるデザインを考えます。

生活者の等身大の視点で考えることは、企業や行政にも新たなサービスや商品のヒントを得ることにつながります。領域や立場を超えた対話を通して、新たな世界を共に描き、築いていきましょう！

# ステップ

1

## 視点を定める

### ■ イントロダクション

本日の目的と流れを説明します。

### ■ ストーリーテリング (Storytelling) ?

一人2分ずつ以下について話します。

- 今日参加した理由
- サーキュラー・デザインについてどんなことに興味・関心があるか

### ■ インスピレーショントーク

対話を始める前に前提となる知識をインプットします。

2

## 課題の本質を考え、問いを立てる

### ■ ワールドカフェ (World Cafe) ?

「捨てる」から考えた時、

- 自分や親しい人の行動の課題は何か？
  - その行動の原因はなにか/なぜ変えられないのか？
- についてグループで対話します。

グループを変えて繰り返し、より対話を深めます。

### ■ 課題の整理

ワールドカフェで出てきた課題を列挙し、フォーカスするポイントをグループで決めます。

### ■ 問いづくり

フォーカスポイントの課題をもとに、グループで問いを立てます。

例「どうすれば〇〇できるようになるだろう？」

例「どうすれば〇〇しないようになるだろう？」

3

## 解決のアイデアを形にする

### ■ ブレインストーミング (Brainstorming) ?

問いに対し、解決のアイデアをグループで20個以上出します。

### ■ ドット投票 (Dot Voting) ?

グループで出した解決のアイデアに、

- いいと思ったものに1人3票ずつ (O)
- 気になるものに1人3票ずつ (☆)

投票します。

投票結果を踏まえて、問いに対して一つの解決のアイデアをまとめます。

### ■ クイックプロトタイピング (quick prototyping) ?

プレスリリースを作ります。

プレスリリースの内容

- 表題/キャッチコピー
- アイデアの説明
- 実現した世界の表現 (イラストなど)

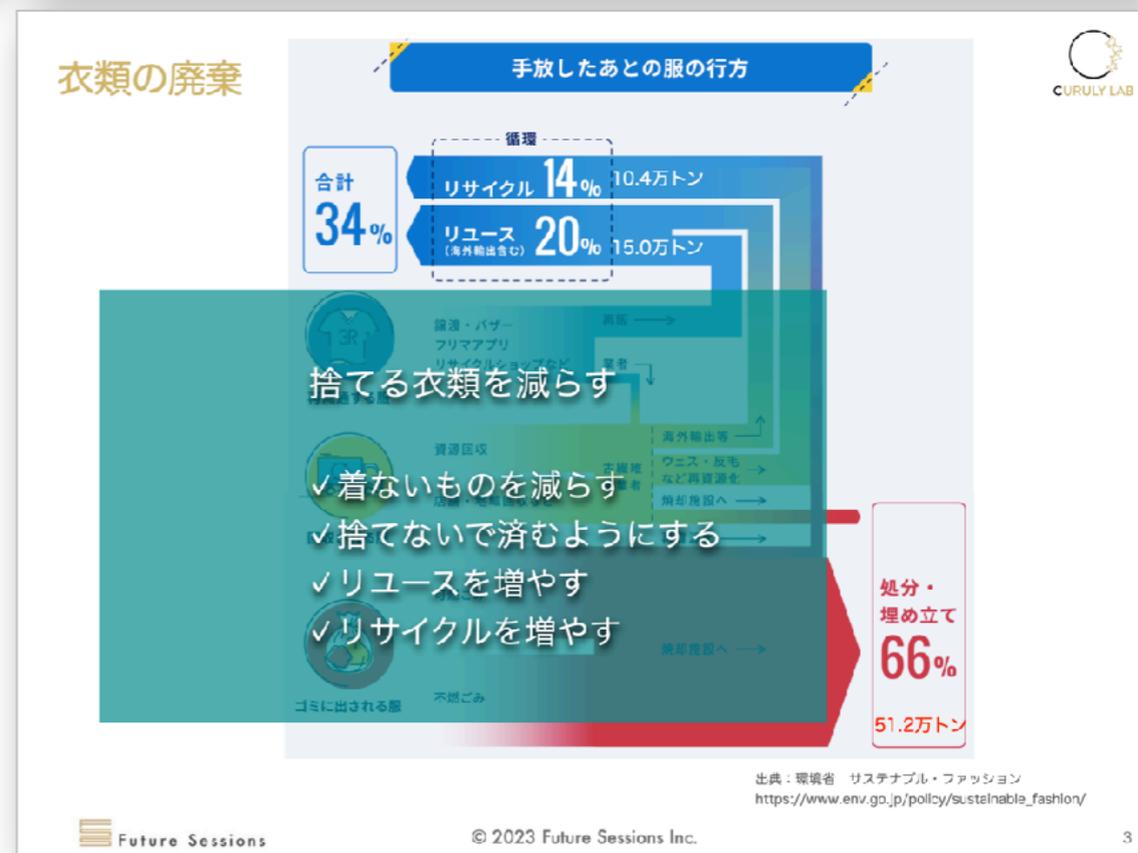
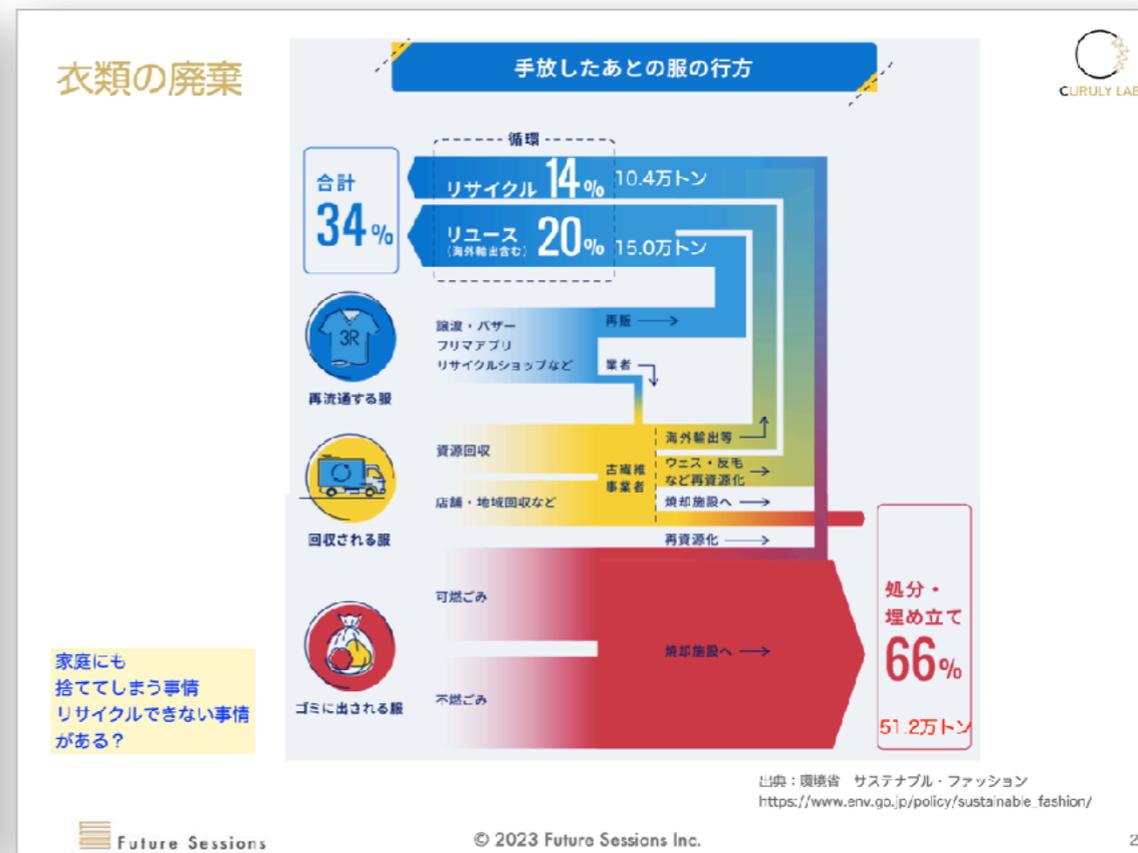
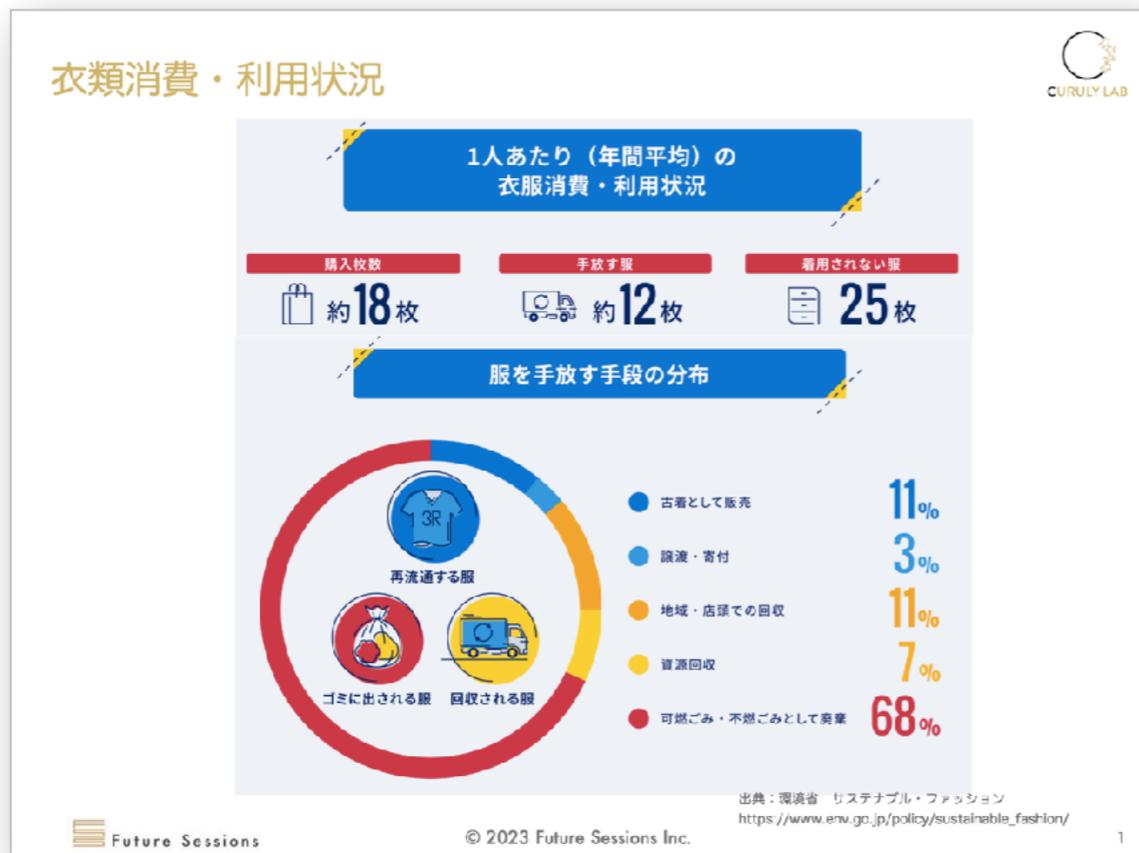
### ■ 全体共有

### ■ 相互フィードバック

### ■ チェックアウト

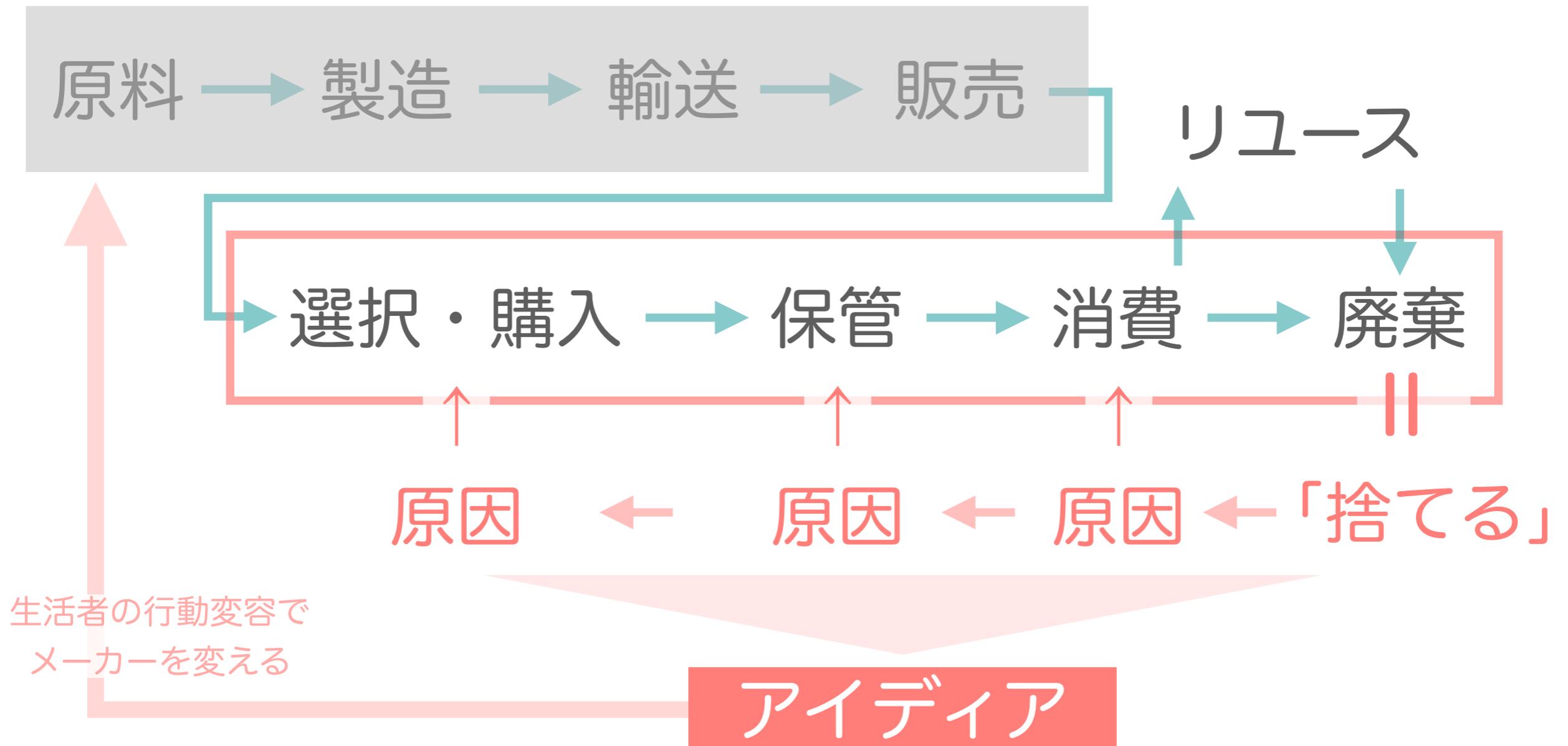


# インスピレーショントーク



# 考える上でのフレーム

「捨てる」から考えることで  
全体のデザインを考えられないか？



# Step 2の可視化



## 捨てる・捨てる理由

- ・ 洗うよりも使い捨て
- ・ 物理的に着れる（心理的に着られない） / 物理的に着られない
- ・ 着れるのに捨ててしまう ← 着られなくなって捨てる
- ・ 捨てる 簡単 / メルカリ・BookOff めんどく
- ・ 捨てるのがただ
- ・ 妻 流行じゃなくなった いらぬ
- ・ 大量に捨てる妻は子育てが忙しい
- ・ 買い物の失敗？
- ・ 捨てるよりも安く・簡単な処理方法がない
- ・ 「買う」から「捨てる」になっちゃう。借りればいいのか？
- ・ EC購入による返品
- ・ ロス込みで大量に多品種作る

## 買いすぎてしまう理由

- ・ 安くて買いすぎる
- ・ 安くてかわいい服が正義
- ・ 流行の短サイクル化
- ・ 若い時は安いものを多く → 年齢が高くなると高いものを少なく

## 若い子が流行を追う理由

- ・ ダサイと思われたくない
- ・ トrendに乗るのは目立たないため？

## 若い子が流行を追わなくなるためには

- ・ どうしたらダサイをカッコイイに変えられるだろうか？
- ・ 自己肯定感が低い
- ・ 自分に自信をもつとファッションに頼らない
- ・ 自分に似合う服がわかるようになる
- ・ 他人軸でなく、自分軸で買う
- ・ 「自分」が好きなもの

## リユースできない理由

- ・ 古着のワクワク感がなくなった
- ・ 古着（量）vs 新品（質）
- ・ 古着を再利用するのが難しい
- ・ 持っているものをパスする相手がいない
- ・ 捨てるじゃない手放れの仕方

## 服を長く使うためには

- ・ 一着一着にストーリーがあった
- ・ 背景やストーリーを楽しめるコミュニケーションを生み出すには？
- ・ まだ使えるの 価値観違い（自分穴あきOK、妻NG）

## リサイクルの壁

- ・ リサイクル時のコスト 消費者・業者
- ・ リサイクルBOX

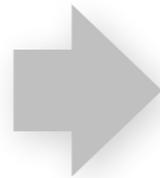
# 捨ててしまう理由

## ファッション

素材、色、形が多様  
リサイクルが難しい素材

### 捨てる服が出る理由 物理的

流行	痛み
サイズ	汚れ
貰い物	遺品



### メルカリ以外の対策は？

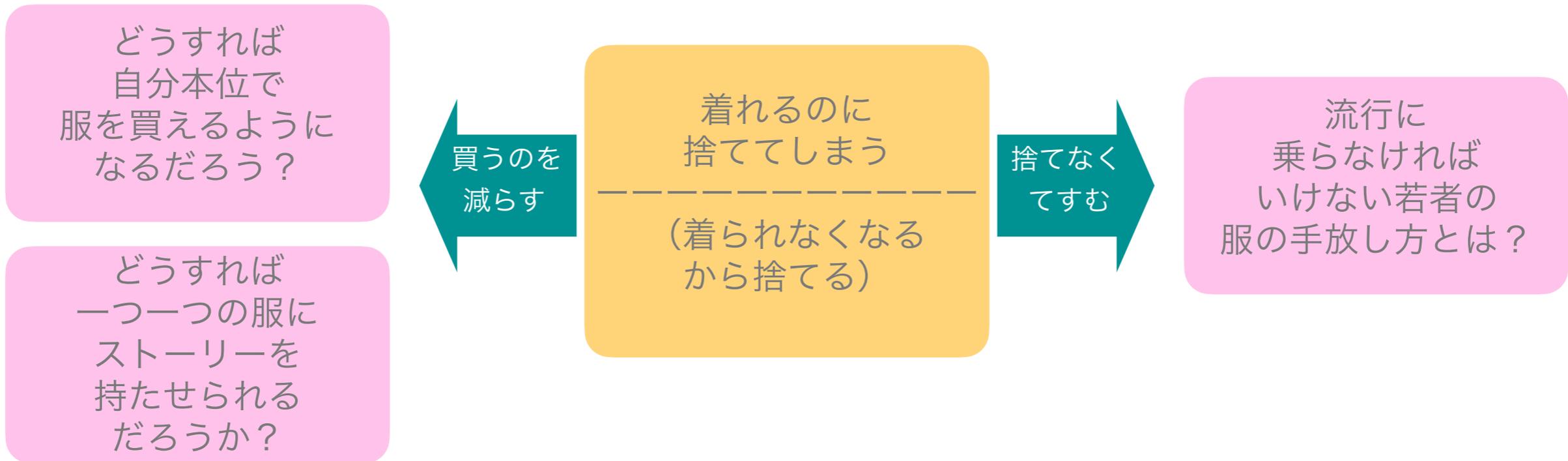
ファッション・流行を楽しく変えるための生活者の行動  
服を長く使えるようにするための工夫（企業&生活者）

メルカリなどリユースに出せない・出さない理由

### 捨てる服が出る理由 心理的

流行遅れ	似合わない	新しい方が良い
着る機会がない	合わせられない	
着心地が悪い	手入れが面倒	
着る気になれない	年齢的なもの	

# 問いを創る



## 買いすぎてしまう理由

- ・ 安くてかわいい服が正義
- ・ 流行の短サイクル化
- ・ 若い時は安いものを多く → 年齢が高くなると高いものを少なく

## 若い子が流行を追う理由

- ・ ダサイと思われたくない
- ・ トレンドに乗るのは目立たないため？

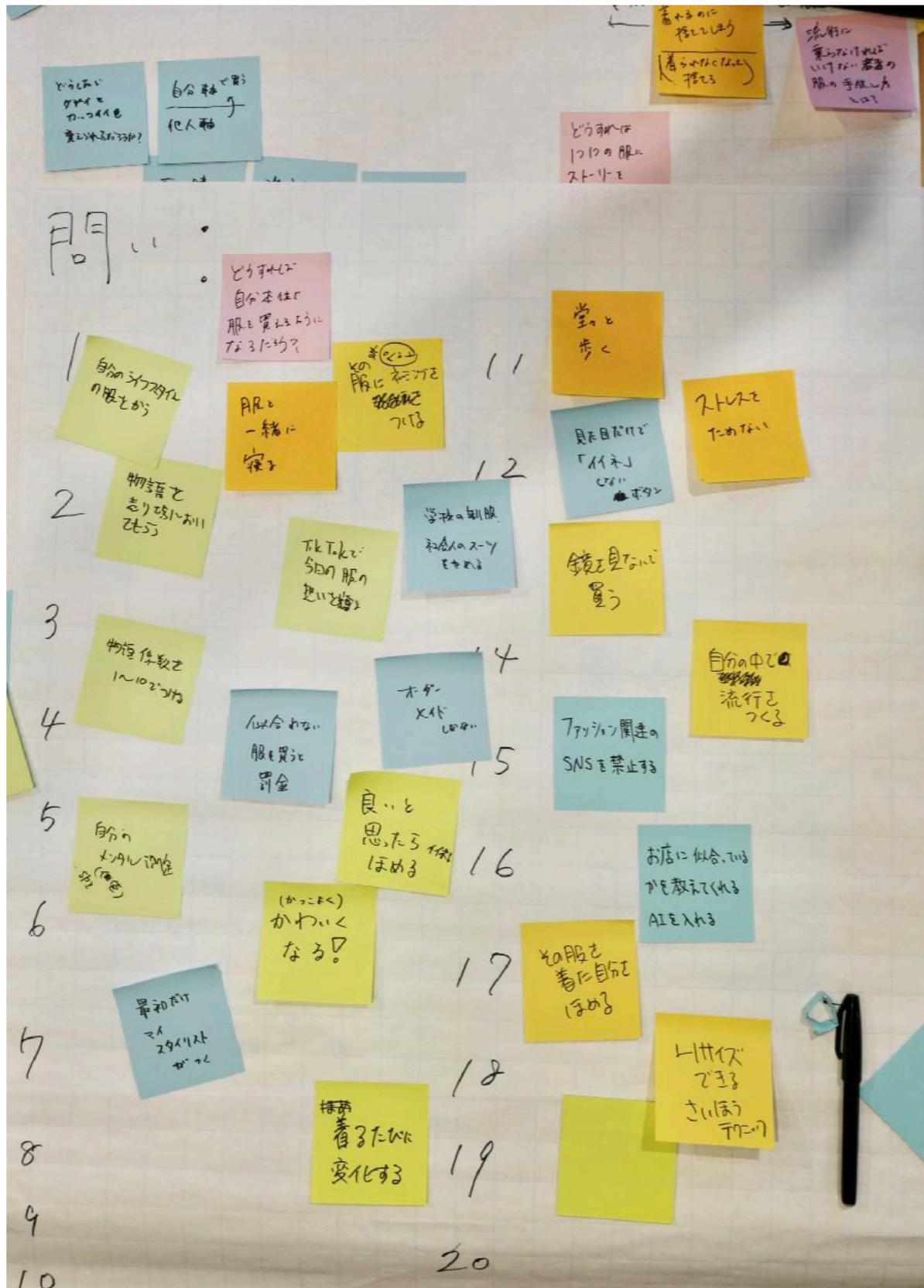
## 若い子が流行を追わなくなるためには

- ・ どうしたらダサイをカッコイイに変えられるだろうか？
- ・ 自己肯定感が低い
- ・ 自分に自信をもつとファッションに頼らない
- ・ 自分に似合う服がわかるようになる
- ・ 他人軸でなく、自分軸で買う
- ・ 「自分」が好きなもの

## 服を長く使うためには

- ・ 一着一着にストーリーがあった
- ・ 背景やストーリーを楽しめるコミュニケーションを生み出すには？
- ・ まだ使えるの 価値観違い (自分穴あきOK、妻NG)





## 問い

どうすれば自分本位で服を買えるようになるだろう

- ・ どうしたらダサいをカッコイイに変えられるだろうか？
- ・ 他人軸→自分軸で買う

○○○○ 似合わない服を買うと罰金

○○ 自分の中で流行をつくる

○○ その服にネーミング (ペットのように名前をつける)

○ 自分のライフスタイルの服を買う

○ 物語係数を1~10でつける

○ 服と一緒に寝る

○ 堂々と歩く

○ その服を着た自分を褒める

○ 良いと思うもの

☆ 気になるもの

☆☆☆☆ オーダーメイドしかない

・ 似合う服ほど安く、似合わない服を高くする

・ お店に似合っているかを教えてくれるAIを入れる

・ 最初だけマイスタイリストがつく

・ 鏡を見ないで買う

・ 物語を売り場に置いてもらう

・ TikTokで今日の服の想いを語る

・ 自分のメンタル測定 (価値) SPI

・ ファッション関連のSNSを禁止する

・ (かっこよく) かわいくなる!

・ ストレスをためない

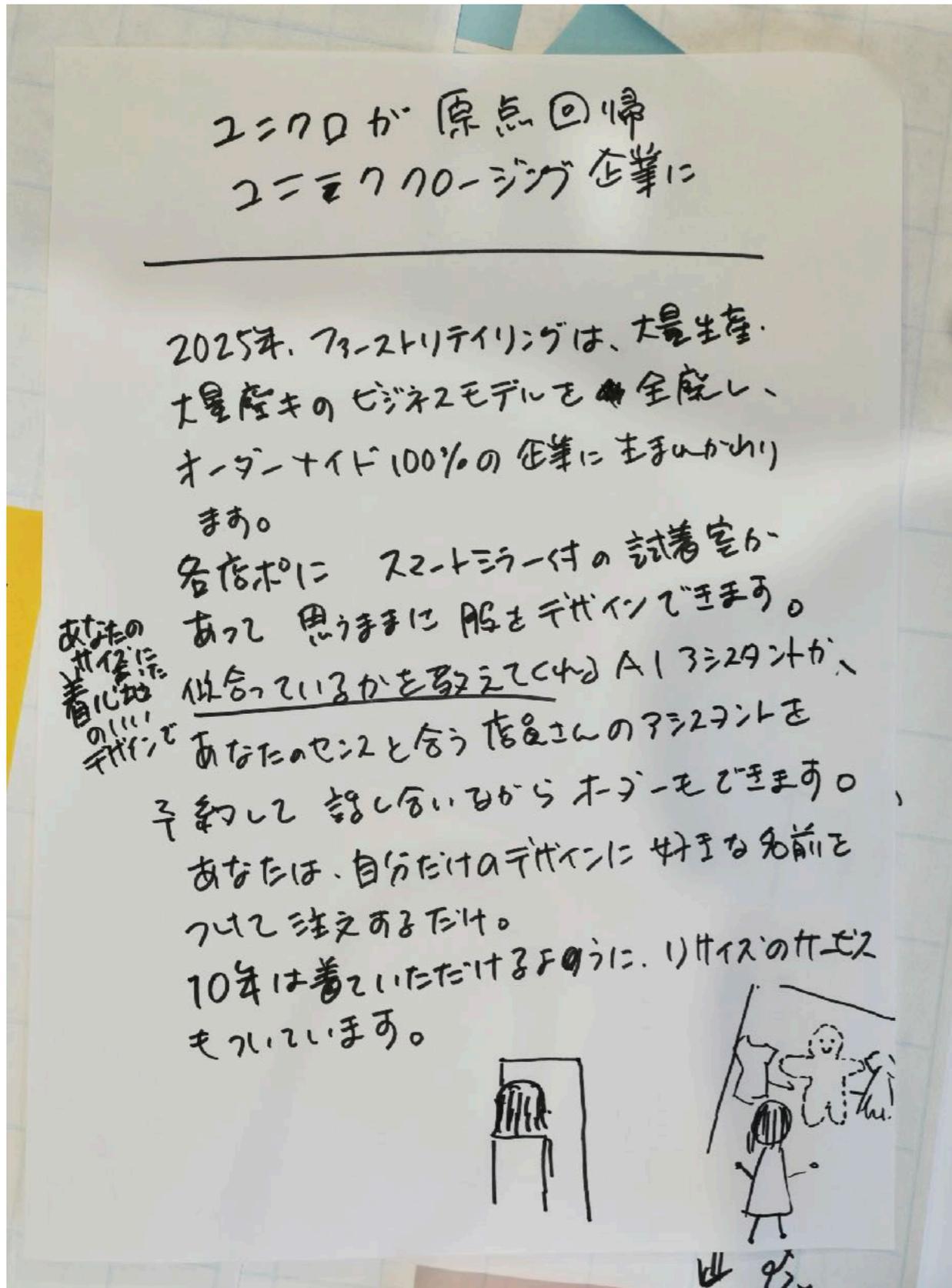
・ 着るたびに变化する

・ 見た目だけで「イイネ」しないボタン

・ 学校の制服、社会人のスーツをやめる

・ リサイズできる裁縫テクニック

# プロトタイプ



## 解決したい課題

- 特に若い人がトレンドに流されて安い衣料を大量に購入し、捨ててしまう現状を変えられないか

## 思考のプロセス

- トレンドを追う、追ってしまうのはなぜか
- 自分のファッションに自信がもてない→流行に乗ってれば安心
- メーカーやファッションリーダーがマーケティングで作り出すトレンドに踊らされているのかもしれない
- 自分らしい、自分に似合っていることに自信が持てれば変わるかも
- 好みや体型に合わせて量産されることも廃棄につながっている

## 最終ゴール

- 本当に似合う、自分らしさを表現できるお気に入りなら捨てない
- 影響のある大企業が率先して大量生産大量消費を止める。
- オーダーメイド100%。スマートミラーでバーチャルで試着
- AIか好みの店員を予約して話し合いながらオーダー可能
- 自分だけのデザイン、好きな名前をつけて注文
- 10年着られるようリサイズサービス付き



# クロージング

## 気づき・感想

- 普段はできない経験ができた。ここまで真剣に系統だってサーキュラーデザインについて考えることはなかったかもしれない。
- 限られた時間の中で、アイデアを出してまとめていくことの体験も貴重。こんな時間でここまでできることが驚き。
- 自分としては洋服に対する想いを大切にしたい。服に名前をつけるくらいの気持ちで付き合っていきたいが、家族がこういう想いを共有できるか、どうしていくかは答えが出ていないので、考えていきたい。
- 今日のアイデアはそれぞれが光っている。例えば、今回作ったプロトタイプ、どこかアパレル以外でテクノロジーを持っているところが実行しそうな気がする。レコードやCDがサブスクに置き換わったような転換が起こると感じた。
- 買い手によって値段が変わるダイナミック・プライシングは、売り方のイノベーションに繋がる。人に合わせて、その人の価値観や、需要に合わせてプライシングするだけで世の中が変わる気がする。
- 会社の中での今回のようなセッションを実施しているが、今日のように多様なメンバーと行くと、様々な意見、考え方、物の見方が出てきてとても良い。
- 普段一緒にならない背景が番う人とセッションした方がインプットが多いし楽しい。
- 今回自分の課題感で参加したが、自分事として考えることで、買う時に思い入れがないことが捨てるに繋がっている。買うハードルを上げることが捨てないことに繋がることに気づいた。
- 答えのない、正解のない問いは面白い。以前セッションを行った時に勉強会のようになってしまったことがある。今日は面白かった。
- ボトムアップも良いが、一人一人の気持ちを変えるのは難しい。時間もかかる。システムとして大きく変えることを考えたい。



